

令和5年度2月 江南区自治協議会 資料

**新潟市全体で取り組む
生徒自身の「やりたい」という思いの実現に向けて**

令和6年2月29日(木)
新潟市教育委員会学校支援課

本市の現状・課題 <人口の減少>

新潟市推計人口（令和5年12月時点）に見る年齢別推計人数

新潟市全体	0歳	5歳	10歳	15歳	42歳 親世代
人口（人）	4,322	5,666	6,413	6,698	約9,500
15歳人口に対する割合	65%	85%	95%	100%	

〇区	0歳	5歳	10歳	15歳	42歳 親世代
人口（人）	339	503	574	642	約900
15歳人口に対する割合	53%	78%	89%	100%	

本市の現状・課題 <活動の選択肢>

〇〇中学校の場合

<男子 2択>



軟式野球



卓球

<女子 2択>



卓球

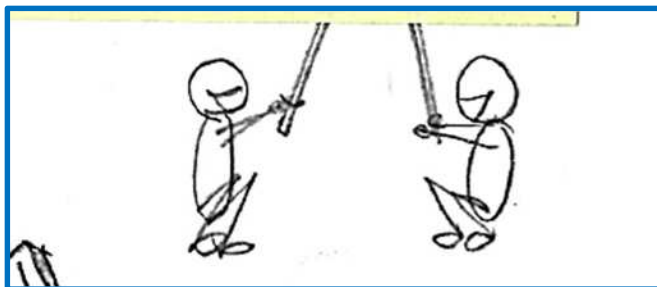


バレーボール

「休日の地域移行」で想定される課題



①「顧問」と「指導者」のWスタンダード



②どこでどんな活動がある？



③18:00まで部活動

↓
地域の活動ができない



④指導者を外部に移すだけでは、持続可能とはならないケースもある

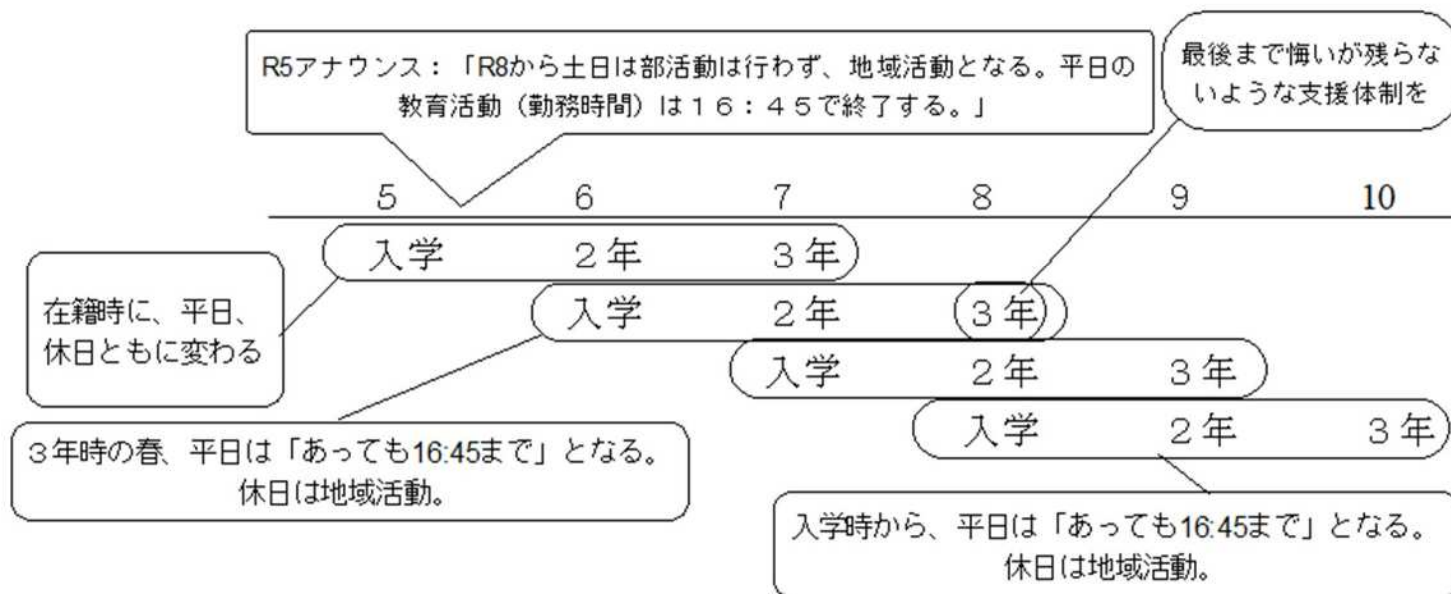


⑤教員は「顧問」と「指導者」どちらで？

新潟市における 部活動の改革推進期間の大きな流れ

- I 休日だけでなく平日も視野に入れた地域クラブ活動への移行
(地域の実情に応じた持続可能な環境の整備)
- II 平日の教職員の勤務時間管理

4 令和5～8年度の新入生の参加イメージ



団体としてのパターン・類型の例

団体名	運営団体	実施主体	種目・運営形態
新潟北サッカー コミュニティ MINAMIHAMA	外部指導者	外部指導者	サッカー 外部指導者が団体を組織。 教員の兼職兼業。
F-PROJECT	新潟市 陸上競技協会	協会員	陸上競技 協会員である代表。 市内の中学生を対象に実施。
巻西中学校 ベースボール クラブ	巻西中野球部 保護者会	外部指導者 OB会	軟式野球 保護者会が運営。
大形中学校	学校 保護者会	教員 保護者 (見守り) 外部指導者	1 2 部活動がベース。 教員の兼職兼業 外部指導者が指導。 保護者会と共同運営。
高志中等 教育学校 女子サッカー	一般社団法人	一般社団法人	女子サッカー 一般社団法人が運営。

多様な実施形態

専門家による指導

実践検証

参加者の声 (アンケート結果より)

- 他校の生徒と一緒に活動
- 大会に出場し入賞したい

- ▲学校単位で試合に出たい。
- ▲レクリエーション的な活動をしたい。

生徒



- 上達している
- 他校と関わり
- 感謝の気持ち

- ▲指導者によって指導内容が違う

保護者



指導者



教員



- 成長、向上を実感
- 生徒の変容、記録の向上を共有

- ▲けが対応への不安。
- ▲集金額・方法の検討。
- ▲施設の減免

- 生徒同士の多様な関わり
- 働き方改革

- ▲指導方針やチーム運営の共有

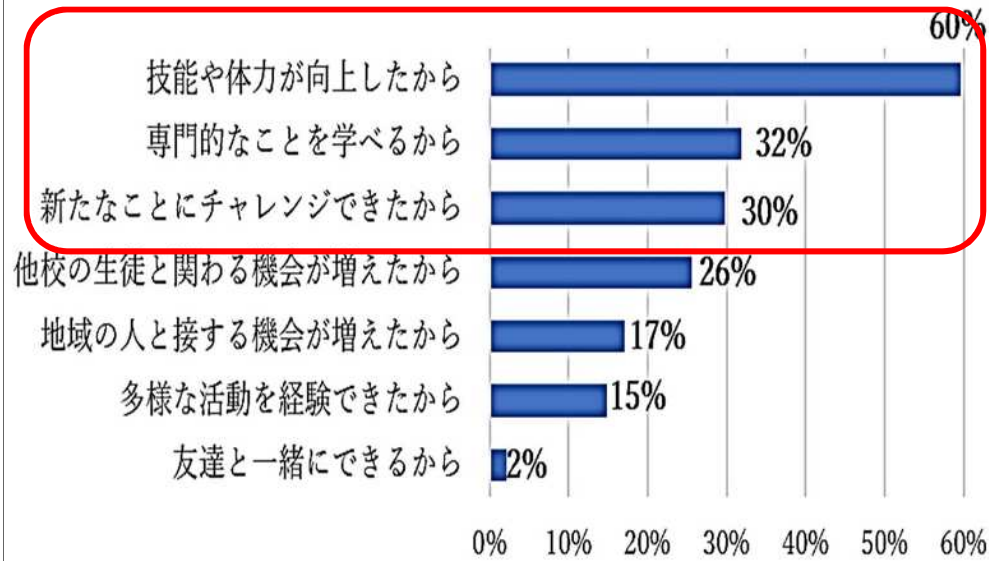
【参考】令和4年度 部活動の地域移行 実践検証事業

実践検証

アンケート成果

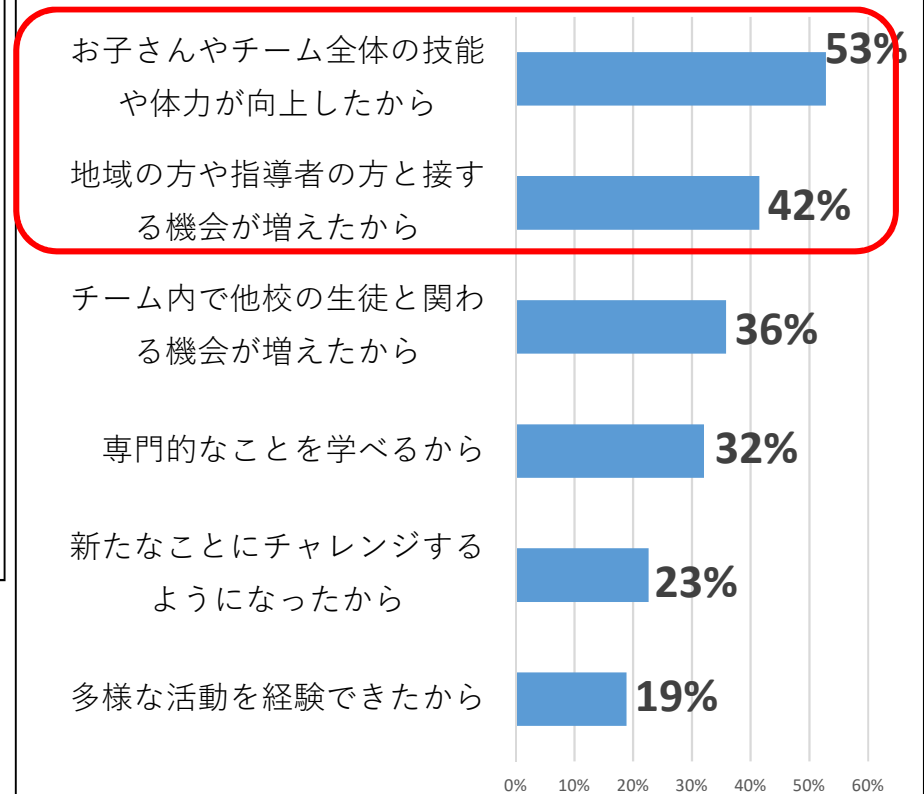
中学生「満足している」と回答した理由

(複数回答)



保護者「満足している」と回答した理由

(複数回答可)



- ① 令和8年度から、休日の部活動は行わない。
- ② 将来的には、平日の部活動も・・・。(時期は示していない)

新潟市の現時点の方針

○令和8年度から「平日16:45以降」と「休日」の部活動は行わない。

- 新潟市の中学生のための地域運動活動・文化活動は、平日と休日を一体として整備し、学校施設を利用できるようにする。19:00以降の学校開放は従来どおり。
- 新潟市立学校は、限られた時間(8:15~16:45)の中で、最大限の教育活動を行う。

○地域の運動活動や文化活動の場が充実するよう、団体(各種協会・連盟、学校、教職員、保護者等)に働き掛け、生徒が運営団体や実施主体を選べる環境を整備する。

「新潟市の中学生のための地域運動活動・文化活動推進協議会」
での協議・検討

新潟市

- 令和8年4月から平日の16：45以降と休日は学校の活動は行わない。
- スポーツや文化芸術活動を希望する生徒は、地域での活動に参加する。

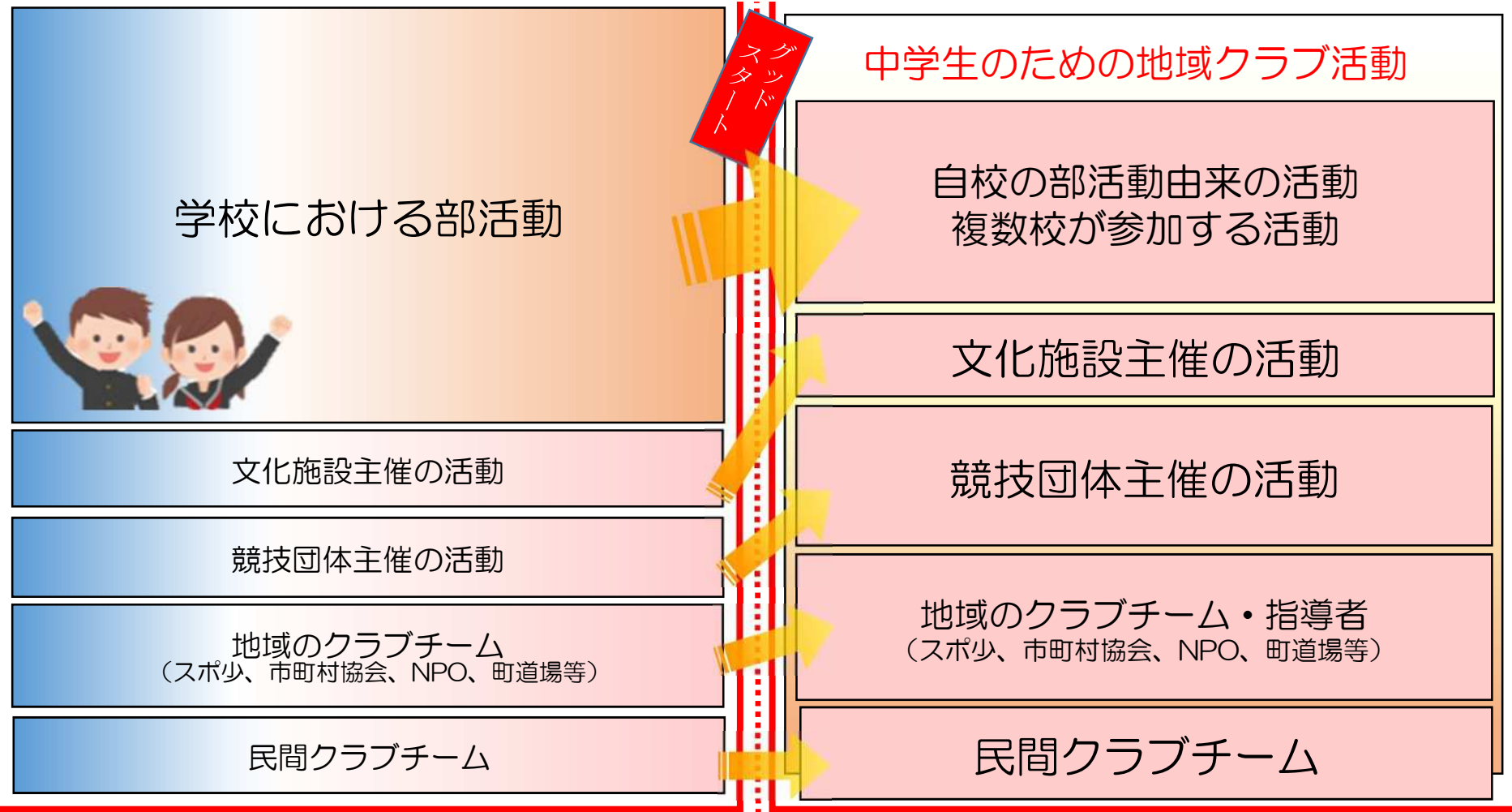


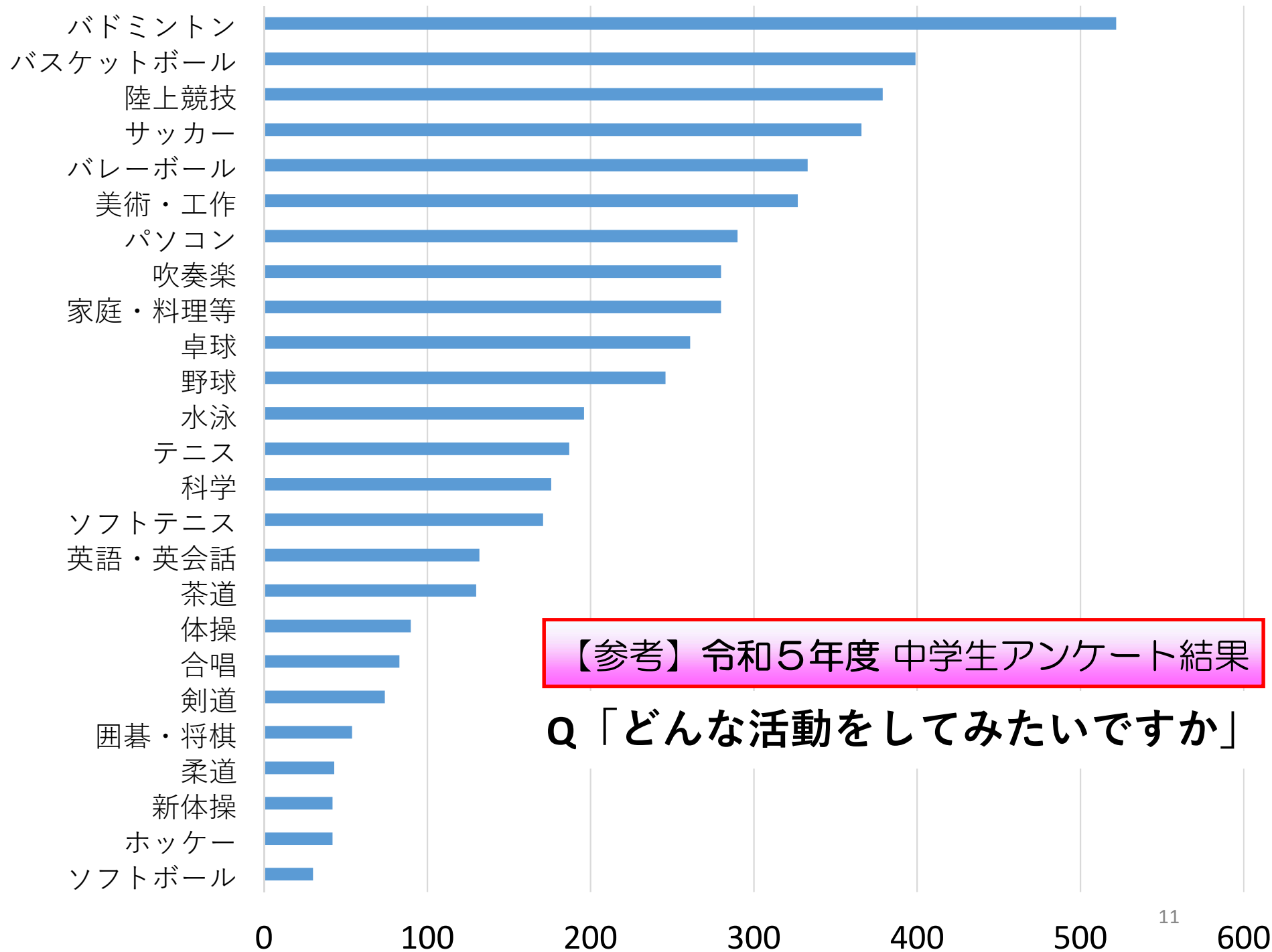
休日の部活動は行わない 平日の勤務時間外も

現状

活動の選択肢

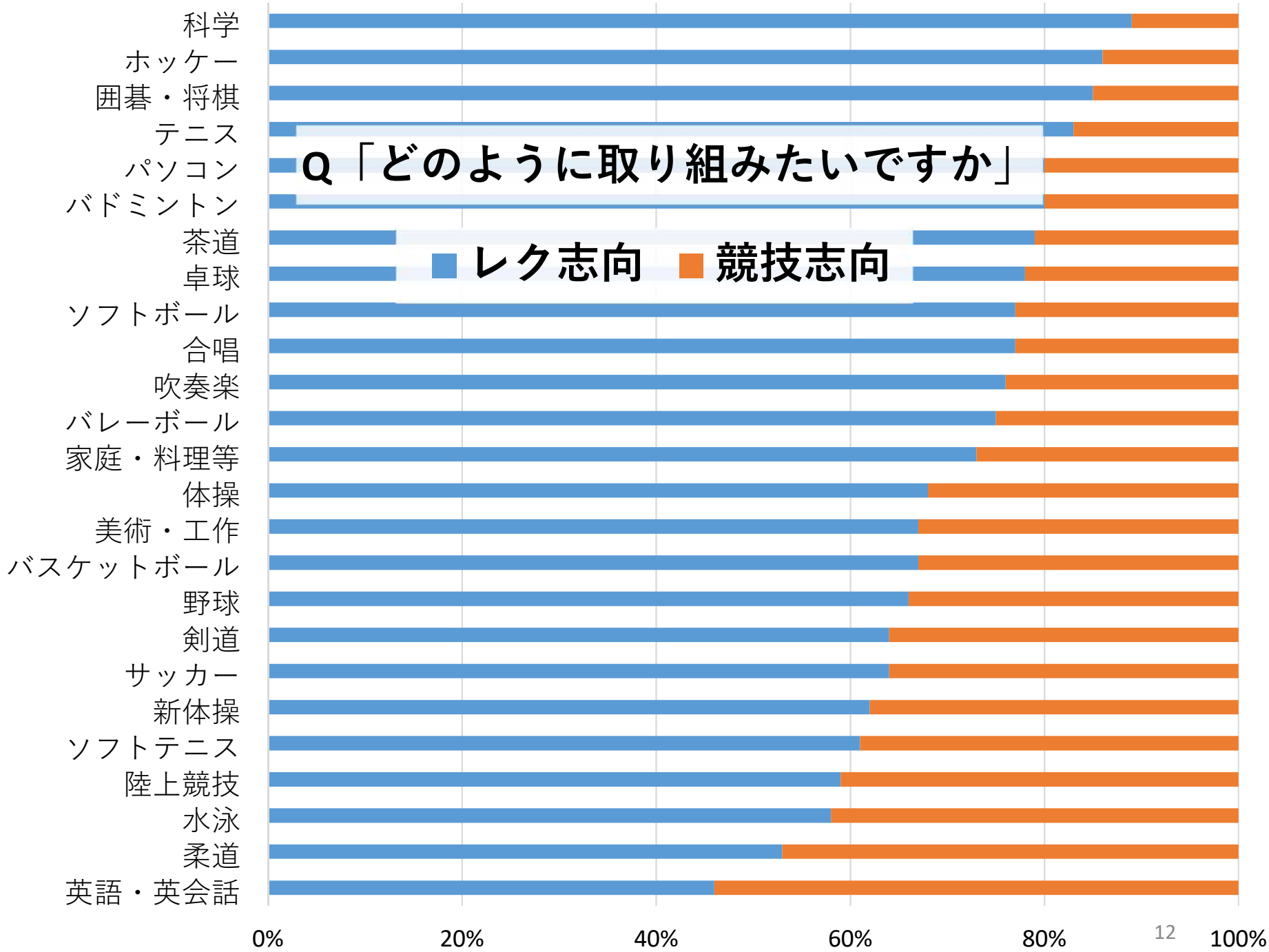
移行後





【参考】令和5年度 中学生アンケート結果

Q「どんな活動をしてみたいですか」



中学生のための地域クラブ活動《指導者・実施主体例》



(既存・新設) の実施主体が
中学生を受け入れる

教職員がかかわり、実施主体を
新設する



スポーツ・文化芸術に
かかわる地域の大人



教職員



校長
(兼職兼業)

中学生のための地域クラブ活動《活動場所例》



ジュニア専用枠ができます
(中学生)



- ①部活、②部活動由来の地域クラブ活動
 - ③今後、新規利用する地域クラブ活動
- 学校施設で空いている場所と時間帯 → オープンへ

立ち上げ補助の検討

条件（団体規約・活動時間・研修など）を
満たした実施主体に対して



検討中

指導者リストへの作成

指導者リスト



空手の指導者として



ダンスの指導者として



中学生のための地域クラブ活動

部活動

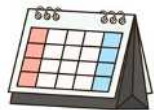
これから



活動場所

学校施設

学校施設・公共施設



活動日数

週5日

週1～5日
柔軟に設定



参加者

在籍する中学生

柔軟に設定



指導者

学校の教職員

地域の指導者
指導を希望する教職員も

中学生のための地域クラブ活動

部活動との違い

- 地域の指導者からの専門的な指導
- 地域の人や一緒に活動する仲間
- 活動の日数や時間帯
- 活動場所
- 活動費用

スポーツ・文化活動の新しい仕組み



学校施設等を中心に



地域の指導者

地域の中学生



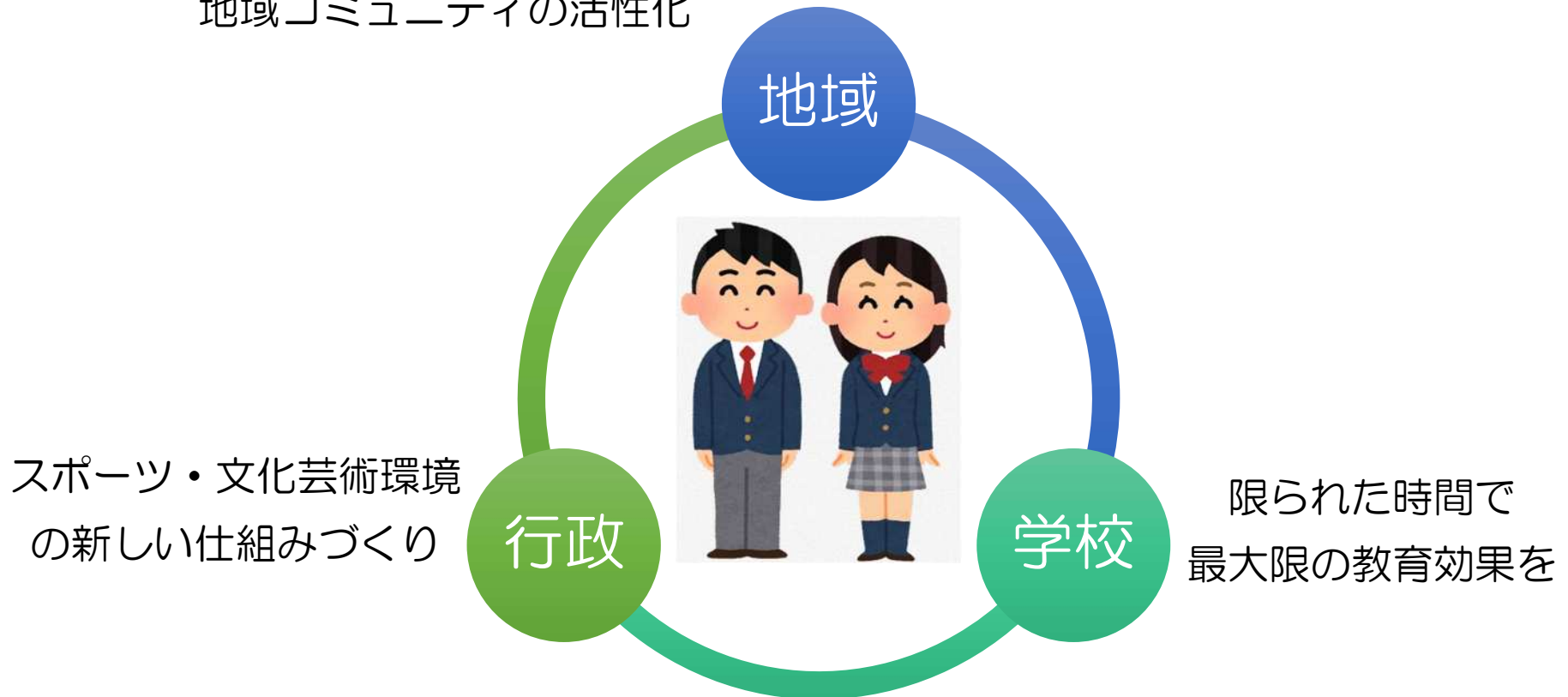
団体リスト

～ 住んでいる地域で活動を探す場合 ～

団体名	活動場所	活動日数
〇〇剣道教室	〇〇中学校 武道場	週3回 (月・水・金)
△△剣道クラブ	△△体育館	週1回 (土のみ)
◇◇道場	◇◇中学校 武道場	週5回 (月・火・木・金・日)

新潟市は『総がかり』で子どもを育てる

子どもたちの「やりたい」を支える
地域コミュニティの活性化



多様な運営団体・実施主体による活動

スポーツ庁・文化庁が示す方向性・目指す姿



地域移行支援事業モデル実施

- 地域の子どもたちは、
学校を含めた地域で育てる
- 持続可能で多様なスポーツ・文化芸術環境を
整備し、多様な体験機会を確保
- 働き方改革を推進し、学校教育の質の向上